

緑化だより

No.210 令和6年11月号



十月桜 (撮影:宗岡 泰昭氏)

11月、休園日はありません

- 季節の花 (さはあららぎ (サワヒヨドリ))
- 水生昆虫の話 (ミヤマアカネ)
- 小さな世界こけ (ヒナノハイゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 緑学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

さはあららぎ(サワヒヨドリ)

「この里は 継(つ)ぎて霜や置く夏の野に

我(わ)が見し草は もみちたりけり

作者 孝謙天皇 万葉集 巻19-4268

これを訳しますと

(この里は これから先にまた続いて霜が降り続くのでしょうか 夏の野原で

私が見たサワヒヨドリの草は もうすっかり紅葉しています。)

孝謙天皇は聖武天皇と光明皇后の娘で、奈良時代(764年)の女性の天皇です。母親の光明皇太后と共に母の実家である大納言藤原家に行かれた日、野原に咲いている淡い紫色のサワヒヨドリの花を一株抜きとり、お供の者に持たせて、光明皇后の甥っ子である藤原仲麻呂たちに、お贈りになった歌です。

サワヒヨドリはキク科の多年草で、日本全国の日当たりのいい湿原や、山間部のやや湿った草原に自生しています。東南アジアにも分布しています。

ヒヨドリバナに比べ、全体に小型で草丈は30~80cmと低く、葉柄がほとんどなく鈍い鋸歯です。又、クマリンの香りはありません。

葉は披針形で、対生または基部で3深裂していることもあります。

花は淡い赤紫色~白色で、9月~10月にかけて咲きます。

和名のサワヒヨドリは「沢^{ひよどり}鶉」で、「沢」などの湿り気の多い場所に生えるから、鶉が鳴く頃に咲く花から、葉の付き方が鳥の翼の形に似ているから、など様々な説があります。また花の終わった後の綿毛で火を起こす^{ほくち}火口としたため「火を取る花」から、とも言われています。(上村)



サワヒヨドリ

水生生物の話

ミヤマアカネ

暑い夏がようやく終わり、秋が深まる時期になってきました。秋の風景と言えば、すすきの上を飛ぶ描写が印象深い「アカトンボ」を見かける季節。

アカトンボといっても、「アカトンボ」という名前のトンボはいません。アカネ属のトンボたちを総称して「アカトンボ」と呼んでいます。とはいえ、赤っぽくてもショウジョウトンボやウスバキトンボのようなアカネ属ではないトンボもいます。アカネ属に属するトンボは21種類記録されているようです。

さて、そんなアカネ属の中でも群を抜いて美しいのが今回ご紹介するミヤマアカネです。

ミヤマアカネは、成虫になると小さくて羽まで赤く染まる宝石のようなトンボだともいわれています。地域によっては数が激減してきており、早急に保護しなければいけないところもあります。

そんなミヤマアカネのヤゴですが、体長は13~16mm程度で平地から山地の流れが緩やかな河川や細流、水田などの、川岸の草が茂っている根っこの際などに潜んで生活しています。

典型的なアカネ型ヤゴなので、プロでもマコタテアカネやリスアカネ、マイコアカネなどのヤゴとよくなかなか見分けが難しいとても悩ましい形をしています。なので、写真は恐らくミヤマアカネであろうという程度でご参照いただけますと幸いです。

成虫は夏に出現して黄色っぽい未成熟から、秋にかけてオスはだんだん赤みが増していきます。広島では成虫が12月初旬まで見られますが、そのころの成虫は翅がボロボロになっている個体が多くなります。

川の周辺をスイスイと飛んでいる姿はとても愛らしいので、ぜひ探してみてください。(西村)



ミヤマアカネのヤゴ



未成熟なミヤマアカネ



成熟したミヤマアカネ

小さな世界 こけ

ヒナハイゴケ

ヒナハイゴケはゼン類ヒナノイゴケ科で、雌雄同株です。仲間にサヤゴケやヒメシワゴケがあります。

公園の樹木の樹幹や石垣、コンクリート壁などで群落を作っているのが見られます。場所によってはコゴメゴケやタチヒダゴケ(10月号で紹介)などと混生していることもあります。

茎の長さ1~2.5 cmで基部には仮根があり、樹幹などを這い、分枝して密に短枝を出します。葉は二種類あり、背葉は長さ1.0~2.5 mm、幅約0.5 mmの卵形。

腹葉はやや小さく長さ約1.0 mm、幅約0.4 mm。乾いても縮むことはなく、全縁、中肋はなく、先は細長い透明尖があります。10月~12月頃につける孢子体は、蒴柄は0.5 mm前後と短いため孢子のうだけが見



秋~早春の若い孢子のう



樹幹に生育しているヒナハイゴケ



帽子が取れた孢子のう

えます。秋から早春の孢子のうは縦じわの帽子をかぶっていますが、春、帽子が取れると長い毛の様な雌苞葉と孢子のうの口環の赤色~赤褐色が目立ちます。

このことから別名“クチベニヒメゴケ”とも言われます。(山根)



孢子のうの拡大

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| 11月 1日(金) 『松の手入れ(秋)』
秋の手入れについて学び、屋外で実習します
※要予約(残りわずか)、無料、剪定鋏、手のこ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：NPO法人 樹木医ひろしま
工藤 徹 |
| ○ 11月 3日(日・祝) 『自由工作塾』
自然の素材で自由に工作
※自由参加(随時受付)、材料費 1作品 100円 | 10:00~15:00 レストハウス前 集合
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 11月 3日(日・祝) 『ネイチャーゲーム』
さまざまな自然の遊びを体験しましょう
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00~15:00 レストハウス前 集合
講師：広島市シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 11月 8日(金) 『11月の自然探勝』
植物の冬支度と落葉樹の紅葉・落葉の観察
※自由参加、無料、 | 10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 11月 8日(金) 『植物の子孫の残し方』
花の形や実から植物の子孫の残し方を学ぼう
※自由参加、無料 | 13:30~15:00 学習室 集合
コーディネーター：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 11月 14日(木) 『秋の写真教室～秋を写そう～』
散策路を歩きながら撮影について学びます
※要予約(先着 15名)、無料、カメラ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○ 11月 23日(土・祝) 『剪定基本マスター講座』
剪定の基本を学び、屋外で実習します
※要予約(先着 15名)、剪定鋏、手のこ持参、見学不可 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：樹木医
難波 正孝 |
| ○ 11月 24日(日) 『藤ヶ丸～呉娑々宇山縦走トレッキング』
距離約 4kmに挑戦します。健脚向き
※要予約(先着 15名)、無料、軽食・雨具持参、雨天中止 | 9:30~13:00 第5駐車場 集合
講師：緑化センター職員 |
| ○ 12月 1日(日) 『クリスマスリース作り』
リースの話とリース作り
※要予約(先着 30名)、材料費 800円 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔 |
| ○ 12月 7日(土) 『冬のバードウォッチング』
散策しながら野鳥を観察します
※自由参加、無料、双眼鏡持参 | 10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟
三次地方分会事務局長
衛藤 慎也 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

・ひろしま遊学の森

スタンプラリー2024 秋

～11月17日(日)

県緑化センターと市森林公園でスタンプを集めてプレゼントゲット!

・もみじ祭り 2024

～11月10日(日)

期間中紅葉クイズラリーでプレゼント ゲット!

・もみじ祭り お楽しみイベント 11月3日(日・祝) 10:00~15:00

場所：レストハウス前

紅葉クイズラリー、ノルディックウォーク、草花販売、キッチンカーなど

・レストハウスの休業は11月から月、木です。

